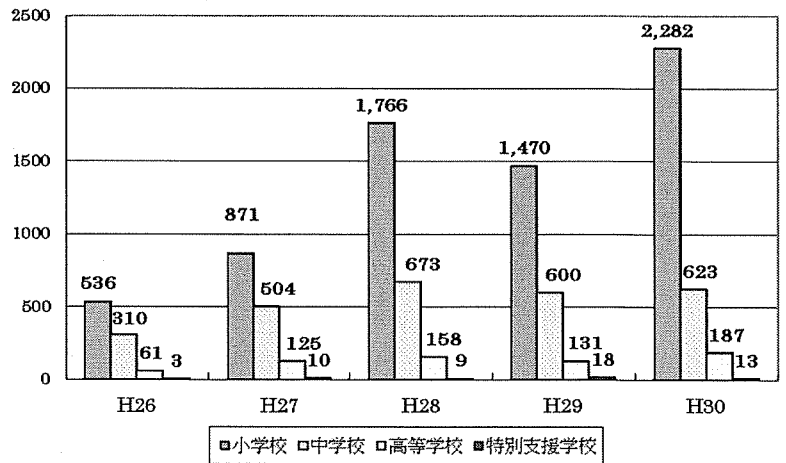


1 概要 (図1・表1参照)

- 平成 30 年度の公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は 3,105 件で、平成 29 年度と比較すると 886 件増加。
- 校種別の認知件数は、小学校 2,282 件、中学校 623 件、高等学校 187 件、特別支援学校 13 件で、平成 29 年度と比較すると、小学校・中学校・高等学校で増加し、特別支援学校は 5 件減少。
- 1,000 人あたりのいじめ認知件数は 17.1 件で、平成 29 年度と比較すると 5.1 件増加。

(図1) いじめの認知件数の推移

(単位: 件)

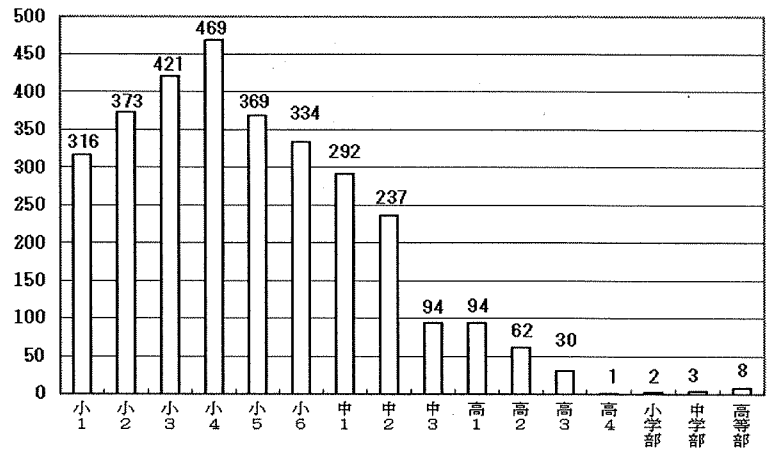


2 学年別認知件数 (図2参照)

- 学年別では小学 4 年生が 469 件で最も多く、次いで小学 3 年生 421 件、小学 2 年生 373 件、小学 5 年生が 369 件の順。

(図2) 平成30年度学年別認知件数

(単位: 件)



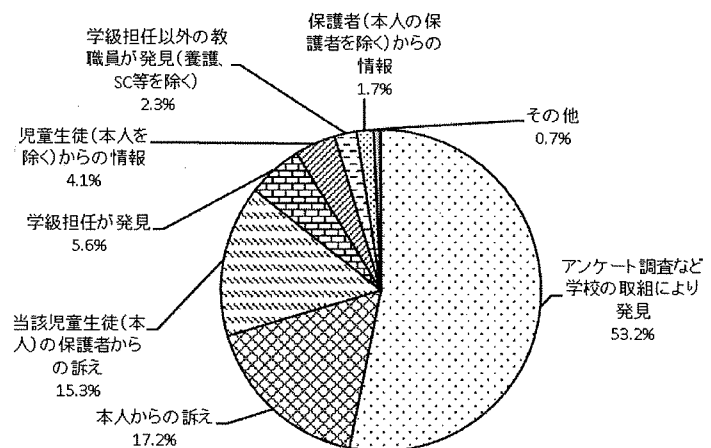
3 いじめの解消状況 (表2参照)

- 全体で、2,423 件 (78.0%) が解消。
- 校種別では、小学校 1,766 件 (77.4%)、中学校 491 件 (78.8%)、高等学校 154 件 (82.4%)、特別支援学校 12 件 (92.3%) が解消。

4 いじめ発見のきっかけ (図3・表3参照)

- 公立小中学校及び県立高等学校では、最も多い発見のきっかけは、「アンケート調査など学校の取組により発見した」(小学校 1,352 件、中学校 232 件、高等学校 64 件)。
- 特別支援学校では、最も多い発見のきっかけは、「本人からの訴え」(特別支援学校 5 件)。

(図3) いじめ発見のきっかけ (全校種)



5 いじめの態様 (複数回答: 表4参照)

- 全校種ともに「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」が最も多く、認知件数に占める割合は 56.1%。
- 「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。」の認知件数に占める割合は 4.3%で、平成 29 年度 (4.7%) と比較すると 0.4 ポイント減少しているが、件数としては、小学校 31 件、中学校 58 件、高等学校 43 件、特別支援学校 0 件と、平成 29 年度と比較すると、公立小中学校及び県立高等学校で増加。

6 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について (表5参照)

- 公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校の全ての学校において、アンケート調査等を実施。

平成 30 年度 公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの状況等
(データ)

(表 1) いじめの認知学校数・認知件数等の推移

区 分		※公立学校 総数:A(校) [学校基本調査 の校数]	認知学校数:B (校)	認知率: B/A×100(%)	認知件数:C (件)	認知件数の増 ▲減率(%)	1校あたりの認 知件数:C/A (件)	1,000人あたり の認知件数
小学校	H26	402	177	44.0	536	▲ 13.7	1.3	5.5
	H27	399	292	73.2	871	62.5	2.2	9.0
	H28	391	316	80.8	1,766	102.8	4.5	18.5
	H29	377	307	81.4	1,470	▲ 16.8	3.9	15.6
	H30	373	308	82.6	2,282	55.2	6.1	24.3
中学校	H26	165	93	56.4	310	▲ 41.4	1.9	6.2
	H27	164	132	80.5	504	62.6	3.1	10.1
	H28	163	137	84.0	673	33.5	4.1	13.8
	H29	161	134	83.2	600	▲ 10.8	3.7	12.6
	H30	160	126	78.8	623	3.8	3.9	13.5
高等学校	H26	68	29	42.6	61	13.0	0.9	1.5
	H27	68	59	86.8	125	104.9	1.8	3.0
	H28	69	54	78.3	158	26.4	2.3	3.8
	H29	69	50	72.5	131	▲ 17.1	1.9	3.2
	H30	67	56	83.6	187	42.7	2.8	4.7
特別支援学校	H26	16	2	12.5	3	▲ 40.0	0.2	2.0
	H27	16	4	25.0	10	233.3	0.6	6.6
	H28	16	5	31.3	9	▲ 10.0	0.6	5.8
	H29	17	6	35.3	18	100.0	1.1	10.9
	H30	18	10	55.6	13	▲ 27.8	0.7	7.9
合計	H26	651	301	46.2	910	▲ 24.7	1.4	4.8
	H27	647	487	75.3	1,510	65.9	2.3	8.0
	H28	639	512	80.1	2,606	72.6	4.1	13.9
	H29	624	497	79.6	2,219	▲ 14.9	3.6	12.0
	H30	618	500	80.9	3,105	39.9	5.0	17.1

※高等学校の学校総数は、全日制、定時制、通信制を併設している学校はそれぞれ1校として計上しています。

※学校総数は、休校等の学校も含まれるため、認知した学校数と認知していない学校数の合計と一致しません。

(表 2) いじめの解消状況

区 分	解消しているもの				
	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
小学校 (件)	493	818	1,600	1,236	1,766
解消率 (%)	92.0	93.9	90.6	84.1	77.4
中学校 (件)	288	478	624	502	491
解消率 (%)	92.9	94.8	92.7	83.7	78.8
高等学校 (件)	53	97	149	108	154
解消率 (%)	86.9	77.6	94.3	82.4	82.4
特別支援学校 (件)	3	9	9	15	12
解消率 (%)	100.0	90.0	100.0	83.3	92.3
計 (件)	837	1,402	2,382	1,861	2,423
解消率 (%)	92.0	92.8	91.4	83.9	78.0

※「いじめ防止等のための基本的な方針」(文部科学省:平成29年3月改定)により、いじめの解消は被害者に対する行為が止んでいる状態が少なくとも3か月継続していることとなったため、令和元年6月末での解消状況を調査したところ96.7%が解消していました。

(表3) いじめの発見のきっかけ

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
アンケート調査など学校の取組により発見	1,352	59.2%	232	37.2%	64	34.2%	3	23.1%	1651	53.2%
本人からの訴え	294	12.9%	175	28.1%	61	32.6%	5	38.5%	535	17.2%
当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	333	14.6%	110	17.7%	28	15.0%	3	23.1%	474	15.3%
学級担任が発見	137	6.0%	26	4.2%	10	5.3%	1	7.7%	174	5.6%
児童生徒（本人を除く）からの情報	86	3.8%	30	4.8%	10	5.3%	1	7.7%	127	4.1%
学級担任以外の教職員が発見（養護、SC等を除く）	34	1.5%	25	4.0%	11	5.9%	0	0.0%	70	2.3%
保護者（本人の保護者を除く）からの情報	36	1.6%	16	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	52	1.7%
その他	10	0.4%	9	1.4%	3	1.6%	0	0.0%	22	0.7%
地域の住民からの情報	3	0.1%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.2%
養護教諭が発見	2	0.1%	2	0.3%	2	1.1%	0	0.0%	6	0.2%
学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	1	0.0%	2	0.3%	1	0.5%	0	0.0%	4	0.1%
匿名による投書など	2	0.1%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.1%
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	2	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%
計	2,282	100.0%	623	100.0%	187	100.0%	13	100.0%	3,105	100.0%

(表4) いじめの態様（複数回答）

	小学校（件）		中学校（件）		高等学校（件）		特別支援学校（件）		計（件）		H30認知件数に占める割合	H30構成比
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30		
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	871	1,251	415	394	69	91	7	7	1,362	1,743	56.1%	51.1%
仲間はずれ、集団による無視をされる。	186	239	75	70	20	16	0	0	281	325	10.5%	9.5%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	290	501	71	64	24	26	3	3	388	594	19.1%	17.4%
ひどくぶつかられたりたたかれたり、蹴られたりする。	51	92	16	14	6	9	0	1	73	116	3.7%	3.4%
金品をたかられる。	8	11	8	4	4	15	1	0	21	30	1.0%	0.9%
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	45	63	21	22	11	2	5	1	82	88	2.8%	2.6%
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	101	217	37	42	11	19	0	2	149	280	9.0%	8.2%
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	21	31	47	58	33	43	4	0	105	132	4.3%	3.9%
その他	60	49	20	32	21	22	0	0	101	103	3.3%	3.0%
計	1,633	2,454	710	700	199	243	20	14	2,562	3,411	109.9%	100.0%

(表5) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について

(単位:校)

区 分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校
アンケート調査の実施	308	46	126	28	56	11	10	8	500	93
個別面談の実施	262	37	125	26	52	10	5	4	444	77
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	240	36	125	27	8	1	4	1	377	65
家庭訪問	284	39	113	26	23	4	4	3	424	72
その他	17	6	2	3	1	0	1	0	21	9
計	1,111	164	491	110	140	26	24	16	1,766	316